



第 41 回鉄構塗装技術討論会 開催予告と発表テーマ募集

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

- ・日時／会場：2018年11月1日(木)～2日(金)／市ヶ谷自動車会館2階大会議室
- ・協賛(予定)：(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会
(一社)日本鉄鋼協会 (一社)日本塗料工業会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本防錆技術協会 (公社)腐食防食学会 日本塗装技術協会
(一財)日本塗料検査協会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■ 本討論会は土木学会のCPDプログラムに認定の予定です。

4度目のオリンピックを2年後に控え、わが国では競技や関連の施設、道路、鉄道等の整備が急ピッチで進められ、建設業界は特需に沸いています。国土交通省によると、わが国の「建設投資額」は平成22年度の42兆円を底に、その後は増加に転じ、平成29年度には55兆円まで回復する見込みとされています。しかしその一方で、建設業界では深刻な人手不足、逼迫する巨大地震や自然災害の激甚化、加速する社会インフラの老朽化等の課題が山積しており、これらを克服するための技術開発や人材の育成が急務となっています。その中で、既存の社会インフラの機能向上や長寿命化を経済的、効率的かつ効果的に達成することのできる技術への期待は高まっており、この観点から、橋梁などの鋼構造物の防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。また、今回の特別講演として、初日は「(仮)あべのハルカスの設計・施工について((株)竹中工務店/平川 恭章氏)」を、2日目には「(仮)本四連絡橋の防食(本州四国連絡高速道路(株)/竹口 昌弘氏)」をテーマにそれぞれお話しいただきます。

次頁の要領にて討論会の発表を募集いたしますので、ふるって応募くださいますようお願いいたします。また、発表の応募とともに、本討論会へ参加いただきますよう関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

実行委員長：富山 禎仁(鋼構造物塗装小委員会委員長)

発表テーマの募集について

■募集する発表テーマ

鋼構造物の塗装技術に関して、分野を限定しない広い範囲からの話題提供を歓迎いたします。文献紹介、研究ノート、経験データ（トラブル対策事例も含む）、ご意見などを各自でとりまとめてご発表ください。

■募集期間

平成30年5月7日（月） ～ 6月29日（金）

■応募後のスケジュール

- ・原稿執筆依頼 ……平成30年7月初旬
- ・発表原稿提出締切日 ……平成30年9月4日（火）
- ・参加申し込み締切日 ……平成30年10月15日（月）
- ・討論会開催日 ……平成30年11月1日（木）～2日（金）

■応募方法

発表をご希望の方は下記項目をご記入の上、ご応募ください。

FAX、郵送、E-mail のいずれも受け付けます。

① 題 記 : 『第41回鉄構塗装技術討論会発表申し込み』

②発表題目 : 「……………」

※1題目につき、発表20分+質疑応答10分です。

③発表概要 : 「200字程度で概要を記載」

④発表者氏名 : 「連名の場合、発表者に○印」

⑤連絡先 : 「会社名・所属・役職・住所・電話番号・FAX番号・E-mail」

※ 発表はパワーポイント使用に限定します。

■応募先

一般社団法人 日本鋼構造協会 『第41回鉄構塗装技術討論会』係

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル3階

TEL : 03-3516-2151 FAX : 03-3516-2152

E-mail : jssc-paint@jssc.or.jp 担当 : 横手, 山本

<討論会の参加申込方法>

参加申込の方法および当日のプログラムについては詳細が決定次第、ご案内いたします。

○討論会の参加費用（予定）

1名につき

- ・会員（協賛団体含む） …… 10,000円（消費税・発表予稿集代を含む）
- ・一 般 …… 13,000円（ “ ” ）